



「磨く」とは考え工夫し継続してこそ光る

～毎日の工夫が自分を変える～

校長 浅見 正史

今、生徒たちは、新たな学年の生活にも慣れ、学習や部活動等への積極的な参加など、一生懸命頑張っています。特に、1年生の1学期は学習量も増え、学習内容も難しくなります。また、部活動も始まり「学習と部活動の両立」が大きな課題となります。

でも、生徒のみなさん、授業をしっかり受け、復習や予習の家庭学習の計画を立て、しっかり行いましょう。部活動についても、最初は、まだ1年生はついていくのが大変かもしれませんが、先輩たちも同じ体験をしてきました。辛いこと、苦しいことにもめげず、頑張ってください。

生徒のみなさん、自分を磨いていますか。以前、元Jリーグサッカー選手に「どうしたら、プロサッカー選手になれるか」という質問をしました。元Jリーグサッカー選手は、「一つ、サッカーを好きになること。二つ、サッカーを毎日練習すること。三つ、毎日工夫すること。この三つがプロサッカー選手になる近道です。」と答えてくれました。一つ目と二つ目は誰もができるかもしれませんが、三つ目は工夫する。例えば、今日できたリフティングの回数を明日1回増やすために注意点を考えてやってみる。素早く動くには三歩目まで歩幅を狭めるなど考えてやってみる。そうです、さらにできることを増やすためには自分で考えて、工夫した練習を毎日継続して行うことでプロサッカー選手になれるのでしょうか。みなさんも考えて工夫し、毎日取り組むことを学習や運動に置き換えて、自分をもうひと磨きして、自分を変えてみてください。

保護者の皆様、期待と緊張の4月、9日間のゴールデンウィークを終え、お子様はそれぞれの目標に向かって取り組んでいますか。五月病という嫌な言葉もありますが、1日または1週間の家庭学習の計画、実行と振り返りなど、やり遂げられる小さな目標を設定することはいかがでしょうか。いわゆるスモールステップをクリアすることで達成感を味わい、自信もつくはずです。お子様がスモールステップで毎日工夫を凝らし、自分を高められるよう見守ってください。学校は自分磨きができるよう支援してまいります。